

ご存じですか！文化財

99

「背高地蔵」

市指定有形民俗文化財 昭和56年12月2日指定



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



所在地 下崎2193

下崎地区に、水田を見渡すように背の高いお地藏さまが立っています。「背高地蔵」と呼ばれ、右手に錫杖、左手に宝珠を持った丸彫り石造の立像で、総高が250cmあります。

背高地蔵が建てられたのは、今から300年前、江戸時代中頃の享保3(1718)年のことです。この頃、大雨などにより、利根川や荒川流域の川の堤防が決壊し、大洪水となるがありました。加須市周辺でも、家や馬を流され、犠牲になった人々も多くいたといっています。

そこで、下崎村の人々は、「再び洪水に遭っても水に潜らないように」との願いを込め、背の高いお地藏さまを建てたということです。このお地藏さまは、洪水で犠牲になった人々の供養塔でもあります。

お地藏さまは、お寺だけでなく、背高地蔵のように道端にも見られます。これらの多くは、[※]講や村の人々により建てられ地域で大切に信仰されてきました。

背高地蔵も長い間、村の人々にあつく信仰され、また、この地域に繰り返された水害の歴史を伝えてくれるものです。



背高地蔵

※講…信仰を共にする団体